



一般社団法人 日本火葬技術管理士会 第5回 日本火葬フォーラムの報告

日本火葬技術管理士会は、平成 15 年から NPO 法人日本環境斎苑協会が実施している火葬技術管理士通信教育の修了者から、「火葬という業務内容なので、なかなか相談する相手や機会も少なく、修了を機に情報交換や交流を図る場を作してほしい。」というご要望、また火葬業務従事者やそれを取り巻く社会的な地位の向上につなげたいという思いから平成 16 年 10 月に設立いたしました。

その後、任意団体として地道に活動を続けていましたが、設立 10 年の節目を迎えるに際して、任意団体ではなく法人格を取得して、地に足を着けた力強い歩みにしようという会員の皆様からの強い熱意で、平成 27 年に一般社団法人として再スタートを切りました。

以降、毎年火葬フォーラムを開催し、火葬等に関する情報を発信してまいりました。

今回で第 5 回という節目の年の開催であり、奇しくも NPO 法人日本環境斎苑協会では、社会的なニーズに応えるとともに火葬技術管理士制度の更なる充実と発展を図るため、総括火葬技術管理士制度創設の準備を進められている年でもあります。

このような大きな動きが想定される中での開催となりました。



日 時

令和元年 10 月 30 日 (水) 10 : 00 ~ 13 : 00

場 所

「熊本城ホール」 3 階 中会議室 E1、E2

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町 2 番 17 号

プログラム

開会

司 会： 副会長 玉寄 将

開会の挨拶

会 長 三木 求

来賓祝辞

NPO 法人 日本環境斎苑協会 理事長 奥村明雄 様

講 演

講 師 ^{ひもんや} 碑文谷 ^{はじめ} 創 様 葬送ジャーナリスト 評論(死、葬送、宗教)

テーマ 「火葬とそのコンテキスト」

講師 ^{こさく}小迫ゆかり 様 福島県県北保健事務所衛生推進課

テーマ 「福島県における東日本大震災時の広域火葬」

講師 ^{きたむら}喜多村 悦史 様 東京福祉大学 副学長

テーマ 「個の尊重と葬儀法要のあり方-火葬場に求められる機能とは-」

講師 奥村 明雄 様 NPO 法人 日本環境斎苑協会

テーマ 「総括火葬技術管理士制度の創設について」

情報交換コーナー ・ TAMOTSU グループ会長 山下健治様

「LABO 棺」(金具類及び金釘無し棺)

・その他

【講演要旨】

講師 碑文谷 創 様 葬送ジャーナリスト 評論(死、葬送、宗教)

テーマ 「火葬とそのコンテキスト」

「火葬の葬儀での位置付け」、「葬儀、骨上げの地方による相違」、「近代の火葬」の3部構成でご講演いただきました。

「火葬の葬儀での位置付け」につきましては、人の死から発生する一連の作業を「葬儀」といいその中で火葬をどう位置付けるのかについて、終末期の看取りから初七日法要までの流れや経緯・変化等についてお話しいたしました。

ごく普通に表現している「収骨」は誤りで、「拾骨」が正しいということ、さらに「1日葬」、「直葬」、「家族葬」の実態や今後の予測等ご説明いただきました。

また、火葬に携わる者にとって一般的に認識している糸魚川・静岡構造断層を挟んで西側が部分拾骨、東側が全部拾骨についても、遺骨に対する考え方の違いということ分かりやすく説明してくださいました。

「近代の火葬」については、現在日本の火葬率はほぼ100%となっていますが、記録が残っている明治29年には26.8%にすぎず、火葬が仏教の葬法で神道と相反していたことなどお話しいたしました。

今回のご講演を拝聴し、もう一度立ち止まり改めて足元の問題に気付き、さらに掘り下げて考えさせられる思いがしたご講演でした。

^{ひもんや} 碑文谷 ^{はじめ} 創 氏 プロフィール

葬送ジャーナリスト 評論(死、葬送、宗教)

1946年岩手県一関市生まれ 73歳 東北出身(岩手・一関、宮城・仙台市)



東京神学大学大学院修士課程中退

出版社に勤務し、44歳で独立、葬送文化専門雑誌『SOGI』編集長(1993～2016)

葬祭ディレクター技能審査企画員(1995～2016)

経産省「ライフエンディング・ステージ」研究会委員(2010～2011)

IFSA(一般社団法人日本遺体衛生保全協会)顧問(1993～)等を歴任

現在、死、葬送、宗教に関する評論・講演活動を展開

著書:『葬儀概論』(現在4訂)、『死に方を忘れた日本人』、『「お葬式」はなぜするの?』

『Q&Aでわかる葬儀・お墓で困らない本』ほか多数

講師 小迫ゆかり 様 福島県県北保健事務所衛生推進課

テーマ 「福島県における東日本大震災時の広域火葬」

ご講演は、東日本大震災直後の福島県内の火葬場の被害や稼働状況、支援体制等細かく報告されるとともに、ご自身が直接対応された墓地以外の場所での土葬に関する相談事項や対応や、福島県内の広域火葬等についてお話しいただきました。

また、震災3年後から現在までの動きとして、大きな災害を経験し生き残った者として、これからどこに住んでどう生きていくか人生を見つめ直す機会となったのですが、最後にたどり着くのがお墓についてだったとのことでした。

急増した相談内容は改葬についてで、福島県は今まで土葬が多く改葬に際して土葬骨や火葬骨も含めて減量の意味もあり火葬を希望される遺族からの相談が多く、普通でない改葬なので県庁に相談が多く寄せられたようです。

10月12日の台風19号や25日の大雨による被害等、災害対応のお忙しい中ご参加いただきました。 昨年は日本環境斎苑協会が主催する第32回情報交換会でご講演いただきましたが、今年度はぜひ火葬フォーラムでもご講演いただきたいという会員の皆様のご要望もありお願いをしたところご快諾いただき実現いたしました。



講師 喜多村 悦史 様 東京福祉大学 副学長

テーマ 「個の尊重と葬儀法要のあり方-火葬場に求められる機能とは-」

火葬について尋ねると、死んだから感覚がないと思うのだが「熱いからいやだ!」という人がいる、という切り口からスタートしました。

今では否定されているが、日本では「家」制度があり家名・家産が恒久的に継承され葬儀は一連の行事として連綿と継承されてきたという以前の葬儀と、現在・一般現代人の葬儀法要についてお話しいただきました。



今後、通夜・告別式は簡素化され、宗門離れも増加するなど変化が大きくなる中で、火葬だけは変わらないし亡くならない。

また、子や孫等自分が存在していたことを覚えてくれている間は死んでいない。遺産相続は、亡くなった者を偲ぶため年1回集まるため遺産を使うようにと言い残す。

魂があるとすれば故人は安心であり、遺族は満足感を持つというお話で締めくくられました。



講師 奥村 明雄 様 NPO 法人 日本環境斎苑協会
テーマ 「総括火葬技術管理士制度の創設について」

NPO 法人日本環境斎苑協会において、一昨年度から検討されている新たな資格制度「総括火葬技術管理士」についてお話しいただきました。

火葬場は、誰しものが一度はお世話になる極めて重要な社会施設であるとともに、環境への配慮や火葬場で働く職員の安全管理への配慮なども重要な課題です。

また、近年大型の火葬場が増加するなど火葬場を取り巻く環境も大きく様変わりしてまいりました。そういう様々な変化に対応する高度な技術を有した専門家、いわゆる副場長的な資格制度の創設をめざされています。

新たな資格制度がスタートすると、火葬技術管理士1級・2級の存在意義も大変重要になるものと推察いたします。

研修制度の開始時期は来年度からを予定されているとのこと。また、これまでの資格取得者で管理経験の十分な方には、別途経過措置を検討中との説明を受けました。

われわれもこの総括火葬技術管理士の資格取得を目指し、火葬場の更なる近代化や火葬場で働く方々の安全管理に貢献できるよう努めましょう。



【情報交換コーナー】

・TAMOTSU グループ会長 山下健治様
LABO 棺(金具類及び金釘無し棺)

年間約130万件の火葬により、数百トンの金具や金釘等が排出されるといわれています。

また、その金具や金釘等によりご遺体に傷をつけるとともに、火葬炉を損傷したり、火葬後のこれらの清掃等にも労力を使っておられる火葬場も多いと思います。

今回の情報交換コーナーでは、これらの問題を解決す



べく金具や金釘無し棺を開発された山下様から開発の動機や取り組み等をお話しいただきました。

最後に、八幡副会長の閉会の挨拶をもって無事終了しました。
ご講演いただいた皆様、ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



【最終報】

火葬技術管理士による



第5回 日本火葬フォーラム

参加費無料 先着70名様

令和元年

10月30日(水)

10:00~13:00

「熊本城ホール」

〒860-0805 熊本市中央区桜町2番17号

TEL:096-312-3737・3738

FAX:096-312-3738

E-mail:info@kumamoto-jo-hall.jp



【プログラム】

- ・碑文谷 創(ひもんや はじめ)様
葬送ジャーナリスト、評論(死、葬送、宗教)
「火葬とそのコンテクスト」
- ・小迫(こさく) ゆかり様
福島県東北保健事務所衛生推進課
「福島県における東日本大震災時の広域火葬」
- ・喜多村 悦史様
東京福祉大学 副学長
「個の尊重と葬儀法要のあり方-火葬場に求められる機能とは-」
- ・奥村 明雄様
NPO法人日本環境斎苑協会 理事長
「総括火葬技術管理士制度の創設について」

・情報交換コーナー

お問い合わせ

一般社団法人

日本火葬技術管理士会事務局

TEL 044-270-0123 FAX 044-270-0766

URL <http://www.kasou.yu-nagi.com/>